



士気高まる!応援団結団式

今日10日(水)に応援団結団式が行われました。全校児童が一堂に体育館に集まって、赤・白・青団に分かれて整列し、各団のリーダー紹介とエールの交換が行われました。



赤団団長の尾方 祐太さんは「僕は1年生の頃から、団長に憧れていました。今年は、応援団が憧れられるような応援団になりたいです。皆さんも協力しながら優勝を目指しましょう!」と意気込みを語りました。白団団長の城下 尚也さんは「白団全員が輝けるように、応援を頑張ります。そして、白団を優勝へ導きます。よろしくお願ひします。」と語りました。青団団長の古賀 勇成さんは「青団を優勝へ導けるように全力で応援します。よろしくお願ひします。」と語りました。

また、全団によるエールと運動会の歌も全員で歌い、会場は熱気に包まれていました。今回の結団式では、団長それぞれの意気込みが、全校児童に伝わり、運動会への士気が高まりました。今後も、それぞれの学級・学年で、運動会を盛り上げていきたいと思ひます。

始まる!たてわり班活動

今日から、たてわり班活動が始まりました。たてわり班活動とは、異学年(1年生から6年生まで)で班編成を行い、様々な活動を行います。本校では、毎週水曜の1時20分から1時45分までを「わくわくタイム」というたてわり班の活動が設定されています。1つのたてわり班は、25人程度で編成され、そこで異学年同士が交流し合ひます。交流し合うことで、「帯西グリーン」がたくさん登場します。また、6年生にとってはリーダーとしての役割が生まれますので、「帯西イエロー」の心が活躍することでしょう。特に6年生は、最上級生としての自覚や自信を持ち、様々な異学年交流活動によって人間関係を広めたり深めたりする中で、6年生の子供自身のよさを生かし、自己有用感を高めていけるのです。また、下級生はそんな6年生に憧れをもって、自分たちも自主的・自発的に行動しようと思ひます。また、異学年で交流し合うことにより、リーダーシップやフォロワーシップによって、それぞれの集団での役割分担や協力が生まれ、社会性が身に付いていくことが期待されます。

